

## ぶどうの晩腐病（病原の追加）

平成 24 年以降、*Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体 (CGSC) は、複数遺伝子・DNA 領域による分子系統解析に基づき 30 以上の構成種が明らかにされている。平成 22 年 8 月に奥尻町の醸造用ぶどうの葉から分離した菌株は、形態的特徴及び CGSC 特異的 PCR 法により CGSC に所属する種と同定された。この菌株について 6 遺伝子・DNA 領域 (ACT, CAL, GAPDH, GS, TUB2, rDNA-ITS) の塩基配列に基づく分子系統解析を行った結果、*Colletotrichum aenigma* B. S. Weir & P. R. Johnston と同定された。*C. aenigma* によるブドウ晩腐病の発生は国内未報告であるため、同種をブドウ晩腐病の病原に追加することを提案した。

(農研本部原環セ)



ぶどうの晩腐病（農研本部原環セ 三澤 原図）